

Orienteering Explorer

Internet Site Picking, Produced by Orienteering Magazine Project



Site #6: 「MTB-Oのつどい」 <http://ha8.seikyoku.ne.jp/home/Sou.Aikawa/>

フットO、スキーOに続いて、MTB-Oでも世界選手権が開かれる。フットOとの最大の違いは、より高速でのナビゲーションが必要とされること。ルートチョイスがよりタイムに影響するため、コンセプトとしてはスキーOに近い。このサイトは、7月にフランスで行われるMTB-O世界選手権の要項を日本語版で提供すると同時に、その予選という位置付けで、さる5月12日に「雨降山物語」(静岡県)で行われた「MTB-Oのつどい」関連の情報も提供している。



▲こんな道をつないで走ります

このMTB-Oイベントには男子26名、女子8名の参加者があった。世界選手権出場意志を表明した者の上位4名という条件、およびその後の追加により、以下の選手が日本代表に認定された。

△男子 大北洋平(京都府, 24), 相川創(奈良県, 26), 渡辺瑞樹(千葉県, 37), 内山雅文(愛知県, 32)

△女子 小寺喜子(岐阜県, 32), 藤原瑞穂(山梨県, 25), 細谷みさき(兵庫県, 33), 伏見幸希子(埼玉県, 28)

このメンバーについて、今回のイベントの仕掛人である落合公也氏は以下のように話している。

「今回のメンバーはオリエンティア、トライアスリート、アドベンチャーレーサー、山岳ランナー、MTBバイカーという異業種の寄せ集めになっています。みんな、その分野では相当に名の知れた面々です。ぼくも

よくぞこれだけのタレントが集まったと驚いています。そしてこの混成チームでありながらとてもうれしいことは、それぞれが得意な分野の技術を他のメンバーに教えてくれることです。そしてみんな自己主張があつて頼もしいです。チームビルディングと言う点では幸先のいいスタートになっています。また彼らのオリエンテリング界へ出現がオリエンティアにも影響を与え始めています。オリエンティアにとって異文化との接触がいい刺激となっています。このメンバーの数人+アルファ

で異業種合宿までやることが決まっています。こんな効果の出現はぼくにとってとてもうれしいことです。」

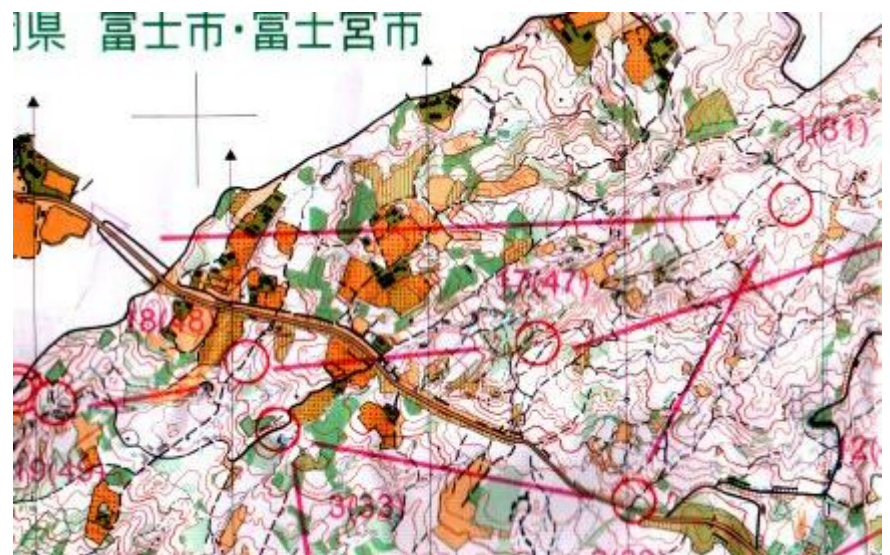


▲コントロール脇で地図読み

Text: 佐々木 順 (サン・スージ)



▲地図はハンドルバー上に装着



▲コースの一部。コースは道沿い、コントロールは道の上